

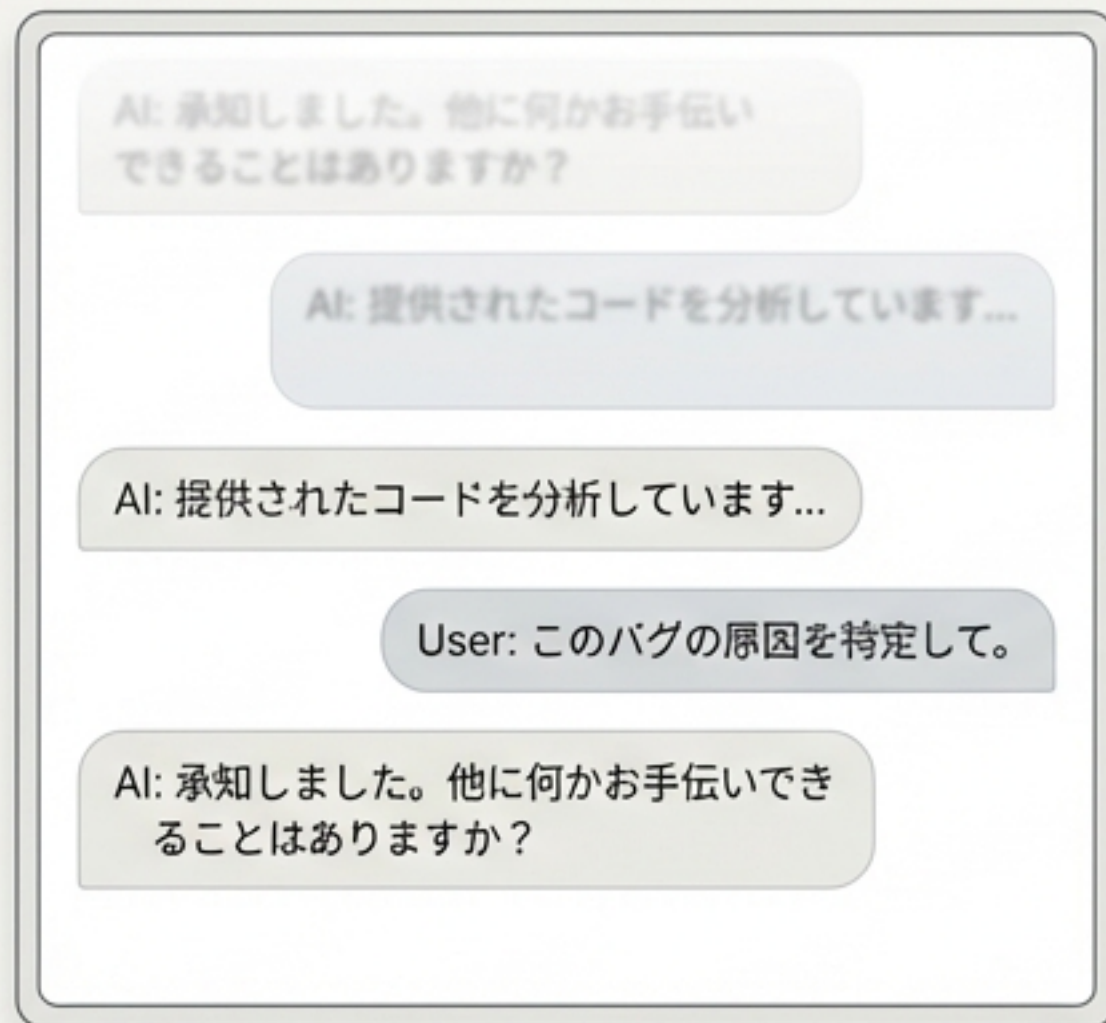
# Obsidian v1.11 × Claude Code 次世代の「個人用OS」を構築する

静的な知識管理から、能動的な思考パートナーへ。

SYSTEM ARCHITECTURE: V1.11 // LOCAL-FIRST INTELLIGENCE

# 「使い捨てのチャット」から「蓄積されるコンテキスト」へ

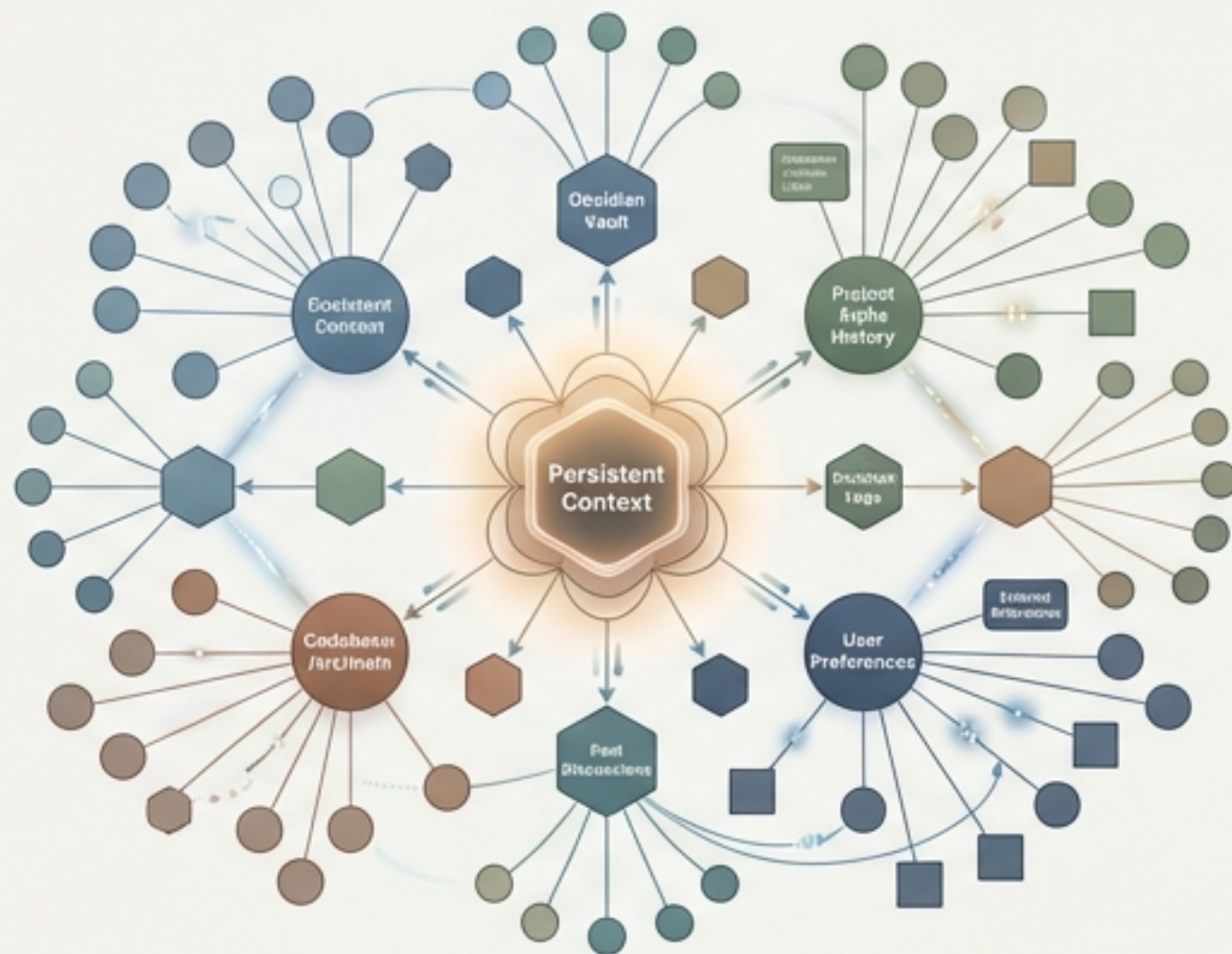
CHAT INTERFACE (TRADITIONAL)



## 従来のAIチャット

セッションが終われば文脈は消える。毎回ゼロから説明が必要。

PERSONAL OS (NEW PARADIGM)

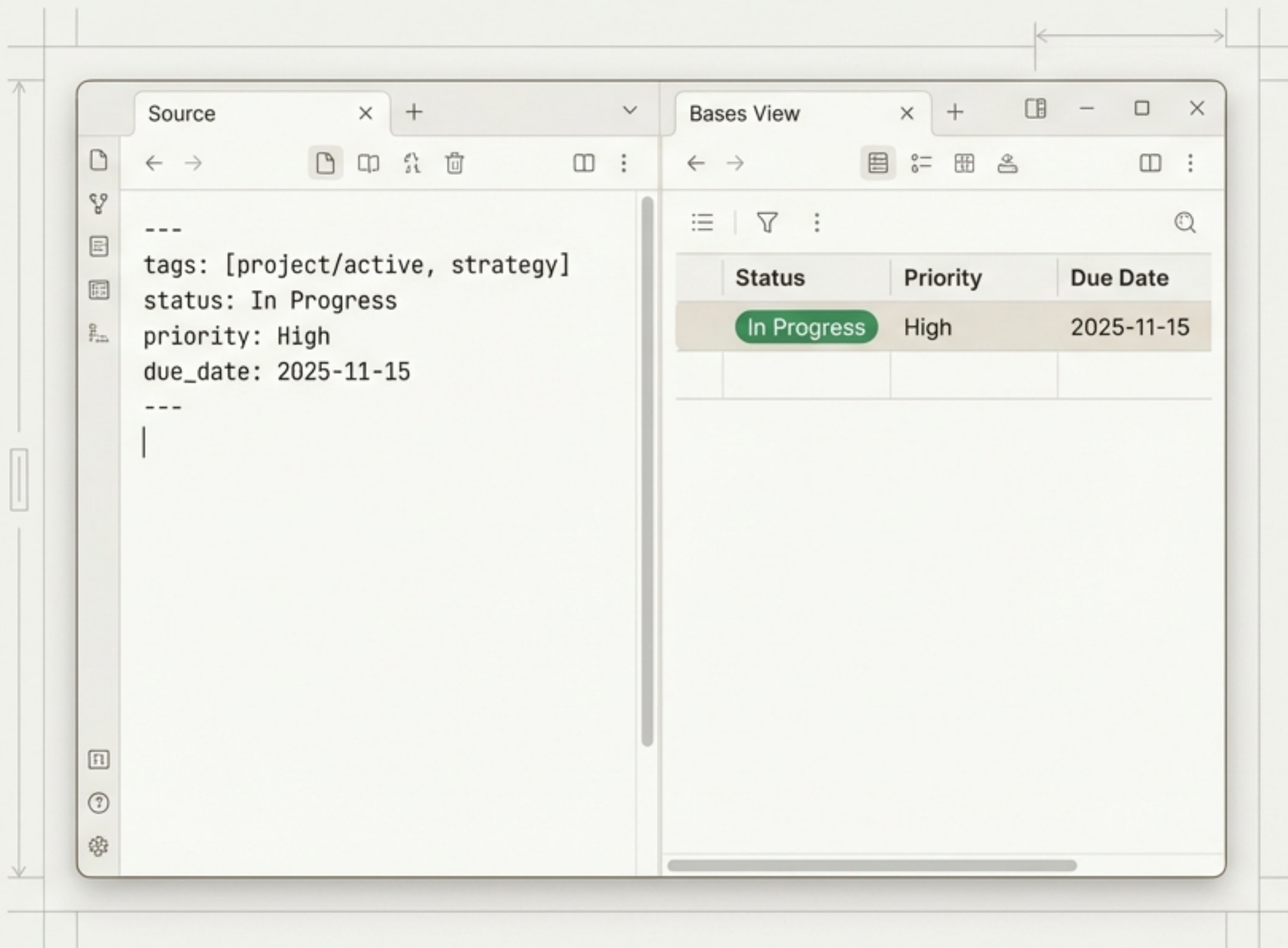


## 新しいPersonal OS

Obsidianが「長期記憶」となり、Claude Codeが「推論エンジン」となる。システムがあなたの文脈 (Context) を理解し、共に成長する。

「思考の資産化」— 過去の議論や意思決定のプロセスが、そのまま将来の推論のためのコードベースになります。

# Obsidian v1.11：テキストエディタから「データプラットフォーム」へ

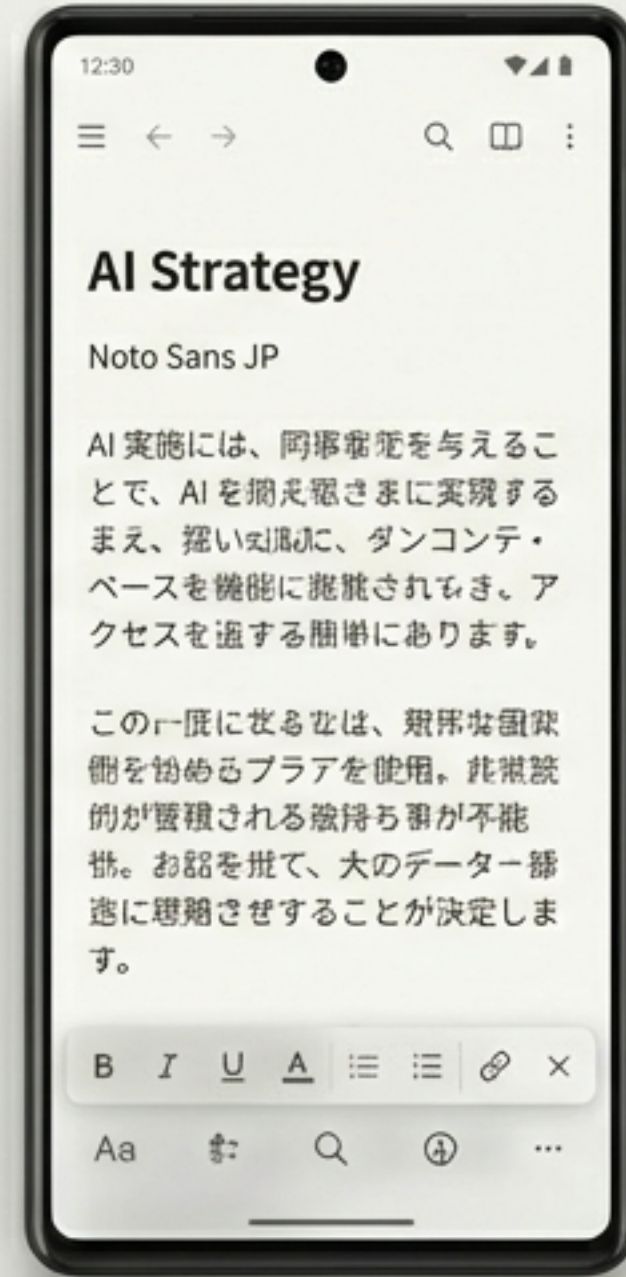


- **Bases (ベース) の導入**  
Dataviewプラグインに依存せず、ネイティブなデータベース機能を提供。数万ファイル規模でも高速に動作し、双方向編集が可能。
- **プロパティの厳格化**  
`tags`、`aliases`などのメタデータをリスト型として標準化。AIが読み書きするための「スキーマ」を確立。
- **新ファイル形式`.base`**  
ビュー設定をMarkdownから分離し、複雑なクエリをGUIで管理可能に。

# Mobile 2.0：摩擦ゼロの「キャプチャ」エコシステム

## Liquid Glass Design

コンテンツへの没入感を高める新しいUI言語。スクロール時にツールバーが自動的に隠れ、思考を妨げません。



## OSレベルの統合

ウィジェット：ホーム画面からワンタップでアクセス。

音声入力（Siri/Shortcuts）：アプリを開くことなく、バックグラウンドでアイデアをInboxに追記可能。

「最高のAIとは、あなたのデータを持っているAIのこと」。  
いつでもどこでも、思考を逃さずシステムに流し込む環境が整いました。

# Claude Code : ローカルファイルに住むエージェント

```
> claude /research-assistant --topic 'Obsidian v1.11 features'
Thinking...
Reading local vault structure...
Found 3 relevant notes in /Knowledge-Base.
Editing 'Research_Summary.md'...
```



## Webチャットとの違い

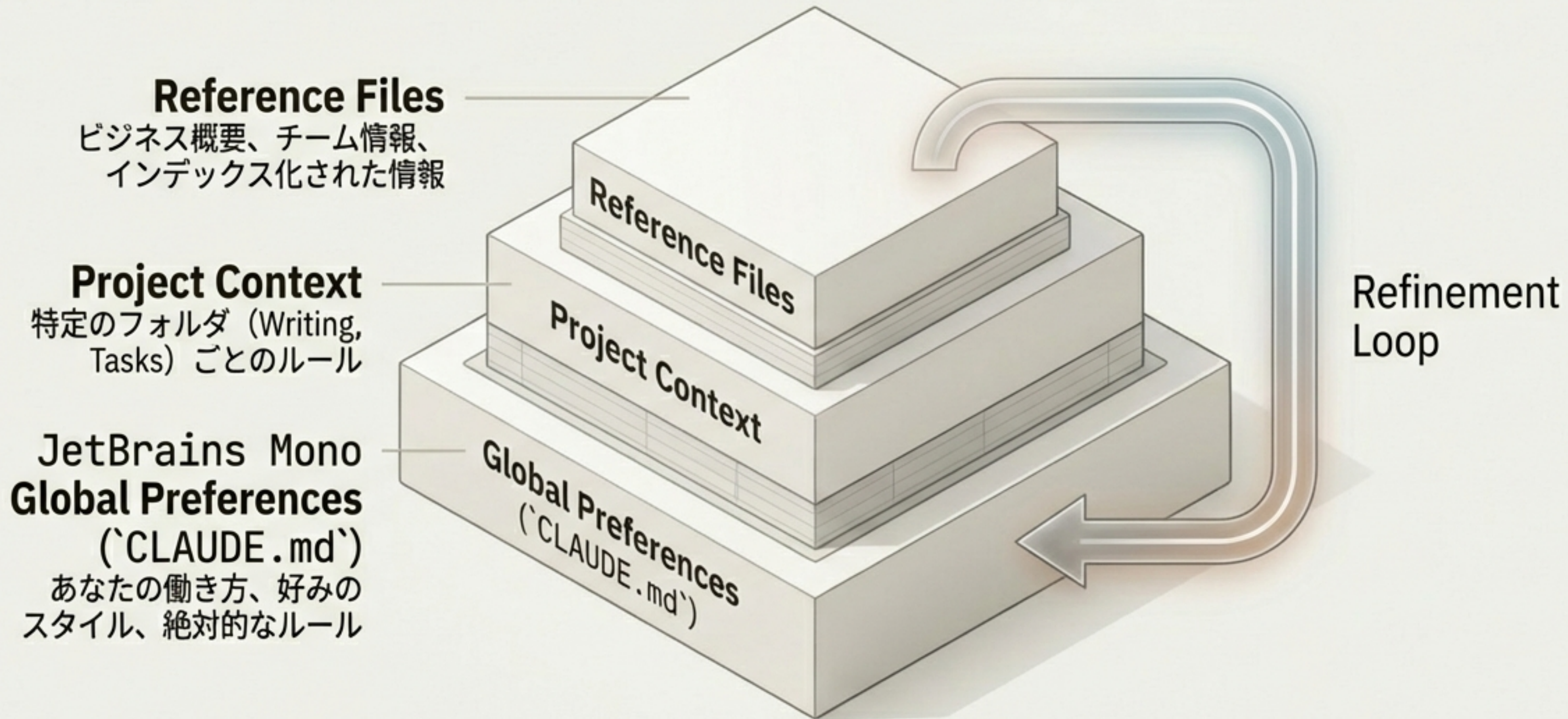
Claude Codeはターミナルで動作し、あなたのローカルファイルシステム（Obsidian Vault）を直接読み書きします。

## 機能

- プロジェクト構造（Vault全体）の理解
- ファイルの直接編集、作成、移動
- GitコマンドやPythonスクリプトの実行

「まるで、すべての作業においてClaudeとペアプログラミングをしているようだ」 — Teresa Torres

# Inter: コンテキスト・マネジメント：「暗黙知」を「形式知」へ



AIの回答精度は、与えるコンテキストの質で決まります。  
毎回説明するのではなく、一度説明してファイルに保存し、AIに「参照」させます。

# "Skills" : AIにObsidian語を教える



## `kepano/obsidian-skills`

ClaudeはObsidian特有のフォーマットをネイティブに扱えるようになります。

### 主な機能:

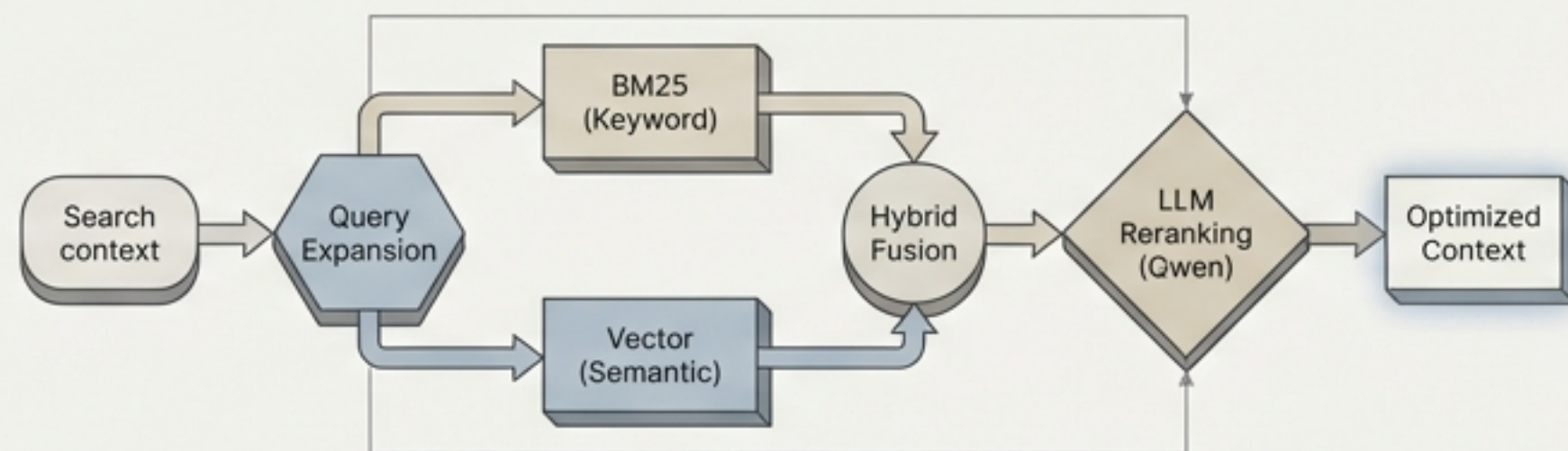
- **Wikilinks:** 正しい内部リンク `[[Note Name]]` の生成
- **JSON Canvas:** テキスト指示から、複雑な概念図 (`.canvas`) を自動生成
- **Properties:** フロントマター (YAML) の正確な記述と更新

# `qmd` : ローカルファーストの検索エンジン

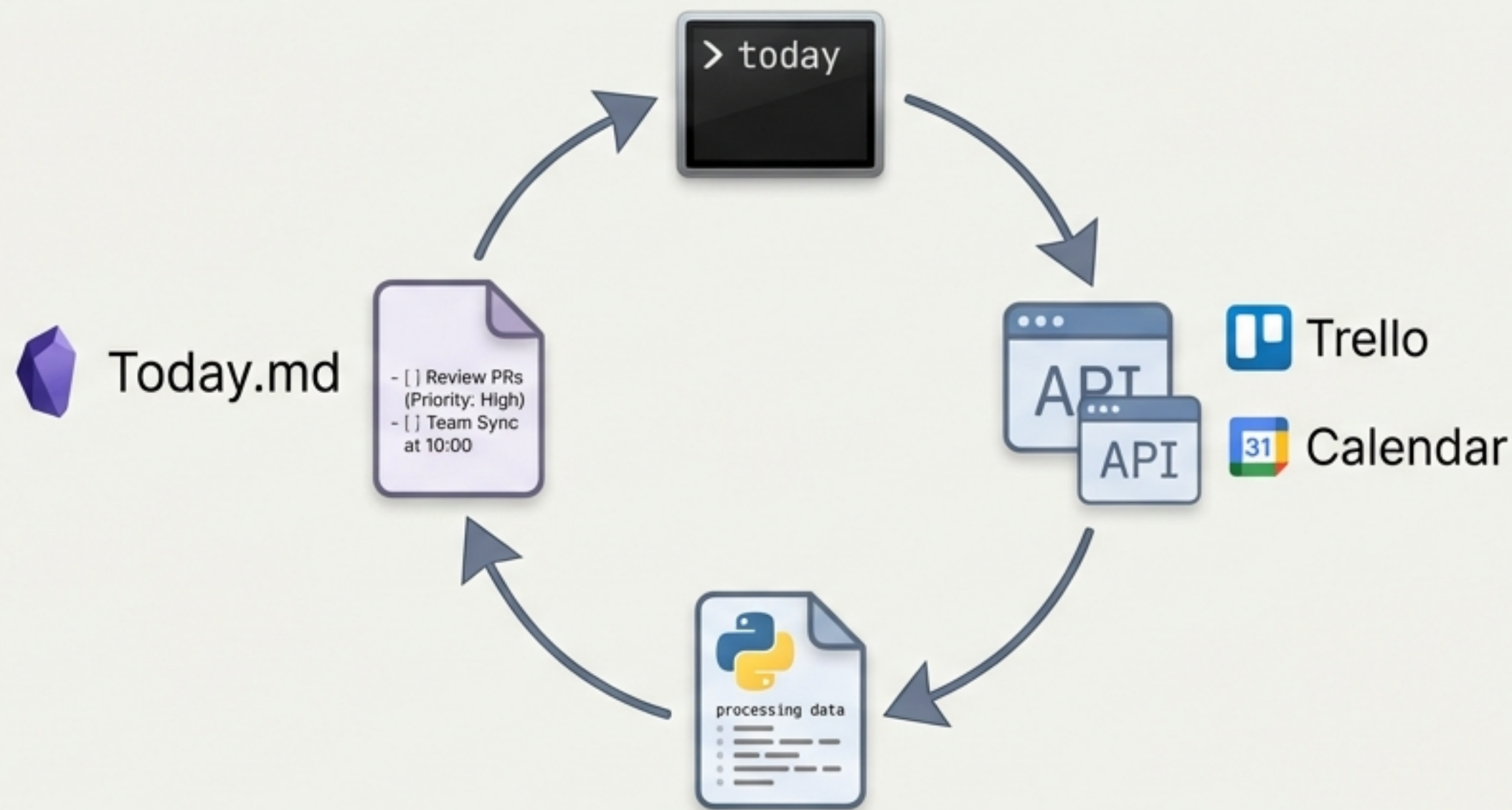
10,000を超えるノートから、AIが適切なコンテキストを見つけ出すための専用ツール。

## ハイブリッド検索 + LLMリランキング

キーワード検索と意味検索を組み合わせ、軽量LLMが結果を再評価。クラウドにデータを送信することなく、SOTA（最先端）レベルの検索精度をローカルで実現します。

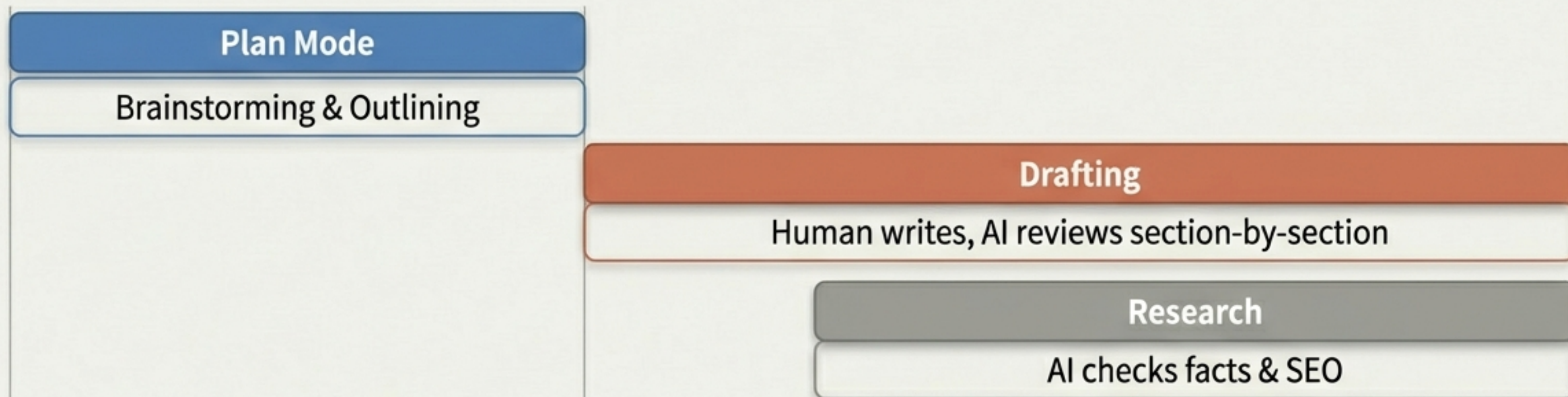


# 実践ワークフローA：オートメーション化された「朝会」



- **トリガー:** ターミナルで `today` と入力。
- **プロセス:** ClaudeがカレンダーとTrello（チームのタスク）を確認し、`Tasks` フォルダをスキャン。Pythonスクリプトを実行して優先順位付きの `Today.md` を生成。
- **効果:** 毎朝の意思決定コストをゼロにします。

# 実践ワークフローB：9,000文字を書き上げる「スパーリングパートナー」



**Human:** “このセクションの論理構成はどう？”

**Claude:** “技術的には正確ですが、導入部が少し弱いです。以下の具体例を追加してはどうでしょう...”

AIに書かせるのではなく、AIと共に考えることで、一人では到達できない品質とスピードを実現します。

# 実践ワークフローC：Vaultを自律管理する「エージェント」群

## Active Agents Status

- Inbox Processor: Sorting 3 new notes...
- Goal Aligner: Checking alignment with Q3 Objectives...
- Weekly Reviewer: Scheduled for Sunday 09:00
- Git Auto-Commit: Vault synced 2m ago

## スターターキット（`claudesidian`、`ballred`）の活用

- **Inbox Processor**: 受信トレイのメモをGTD原則に基づいて振り分け。
- **Hooks**: ファイル保存時にGitコミットを自動実行するなど、裏方作業を自動化。
- **Init-bootstrap**: 既存のVault構造を解析・学習。

# 実装への3つのパス

## The Builder



### 手動構築

Noto Sans JP

Teresa Torres流。1つの  
`CLAUDE.md`と1つのワーク  
フローから小さく始める。

## The Kit User



### スターターキット

Noto Sans JP

`heyitsnoah/claudesidian`  
などをクローンし、最初から  
完成された環境を手に入れる。

## The Integrator



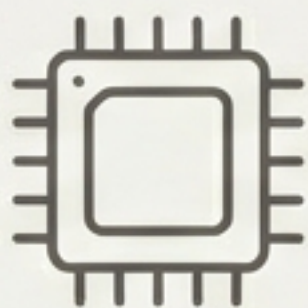
### 部分導入

Noto Sans JP

既存のVaultに`obsidian-  
skills`だけを入れ、特定の  
タスクのみAI化する。

Advice: 「Writing Mode (書くこと)」ではなく「Thinking Mode (考えること)」から始めてください。

# 運用とベストプラクティス：安全性と持続可能性



## コンテキストウィンドウ

Noto Sans JP

会話が長くなったら、Claudeに「Process Notes（議事録）」を作成させ、記憶を圧縮してからコンテキストをクリアする。



## セキュリティ (Keychain)

JetBrains Mono

v1.11の新機能「Keychain」により、APIキーはOSの安全な領域に暗号化して保存されます。

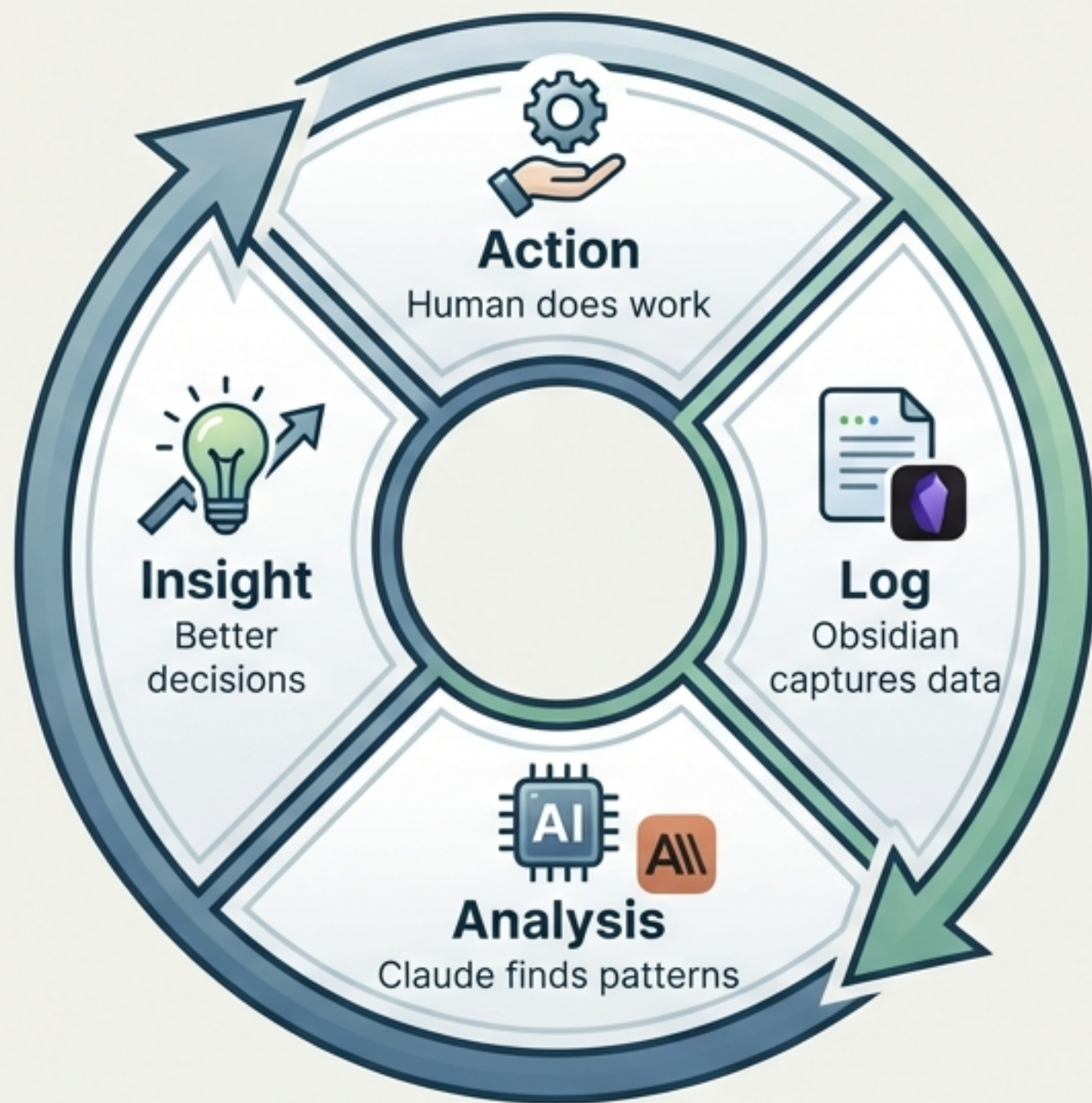


## コスト

JetBrains Mono

本格的な運用には\$100/月のプランが推奨されますが、基本的なタスクは\$20/月でも可能です。

# ROI：なぜ「Personal OS」を構築するのか？



**\*\*思考の資産化\***: 過去の思考プロセスが、再利用可能なコードやコンテキストとして蓄積される。



**\*\*自己認識の深化\***: AIがログのパターンを分析し、自分では気づかない癖やバイアスを発見する。



**\*\*フロー状態の維持\***: 事務作業をAIにオフロードし、創造活動に没頭できる。

「自分よりも自分のことを知っているパートナー」を手に入れる体験。

# ファイル管理から、「叡智」の管理へ



Obsidian v1.11 と Claude Code は、単なるツールのアップデートではありません。  
それは、私たちがコンピュータとどう関わるかという「関係性」のアップデートです。  
完璧なツールを待つのではなく、今あるツールで「エッジ（最先端）」を構築しましょう。

## Build your OS. Own your intelligence.